

中小企業の動向

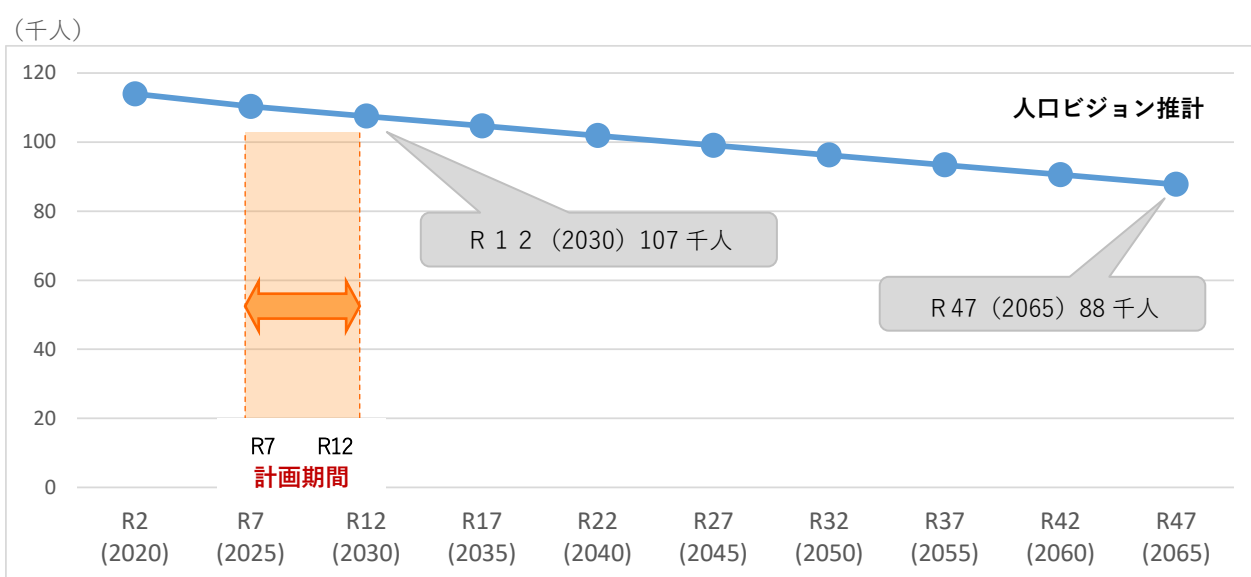
1. 中小企業を取り巻く環境

(1) 本市の人口推計

令和6年(2024年)に厚生労働省から公表された出生数は、68.6万人であり、国立社会保障・人口問題研究所が推計していた「2043年に70万人を下回る」という見通しよりも、大幅に早いペースで出生数の減少が進んでいます。

防府市人口ビジョンでは、「住みたくなるまちづくり」を進め、社会増の継続により将来にわたって人口8.8万人を維持することを目指しています。

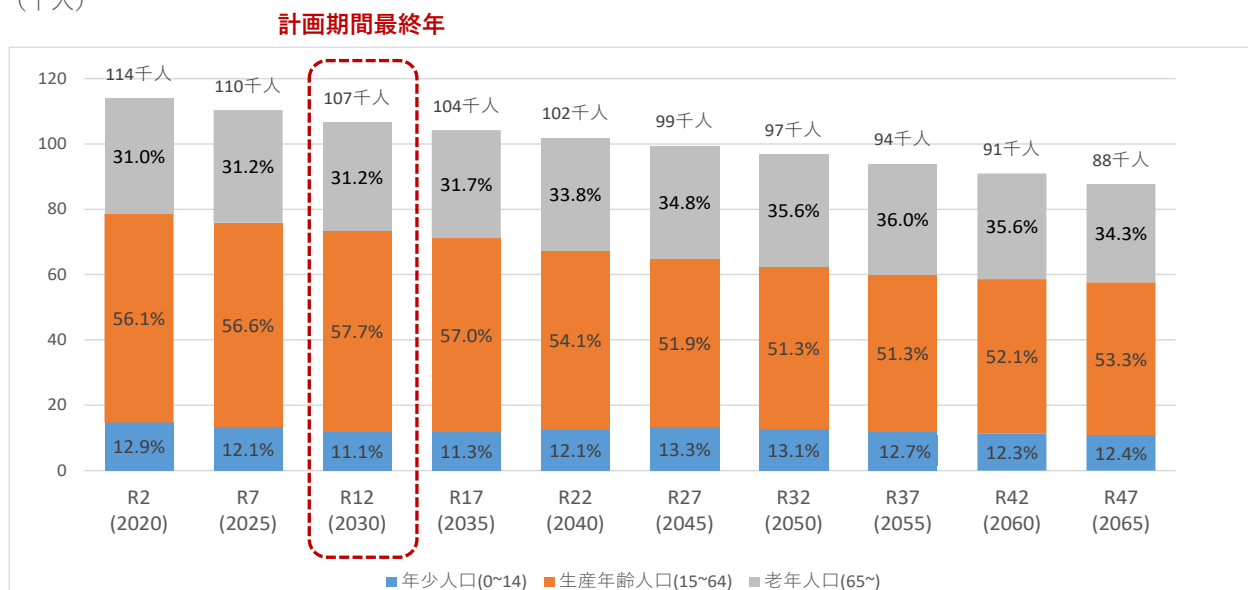
■人口推計



出典：防府市人口ビジョン

■年齢3区分別人口構成比

(千人)

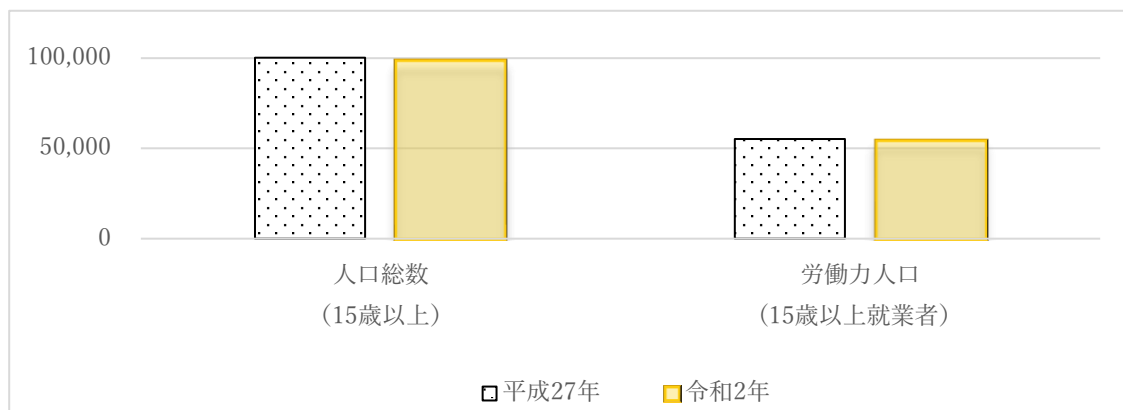


出典：防府市人口ビジョン

(2) 労働力状態の推移

本市の労働力状態(15歳以上の人口)及び労働力人口(15歳以上の就業者)は、平成27年の国勢調査では、100,282人のうち55,142人(男性31,092人、女性24,050人)で、労働力率は55.0%となっています。令和2年の国勢調査では、98,310人のうち54,241人(男性29,856人、女性24,385人)であり、労働力率は55.2%となっています。将来的には、総人口の減少に伴い、労働力人口が減少していくことが想定されます。

■労働力状態の推移



※15歳以上人口総数には、労働力状態「不詳」含む。

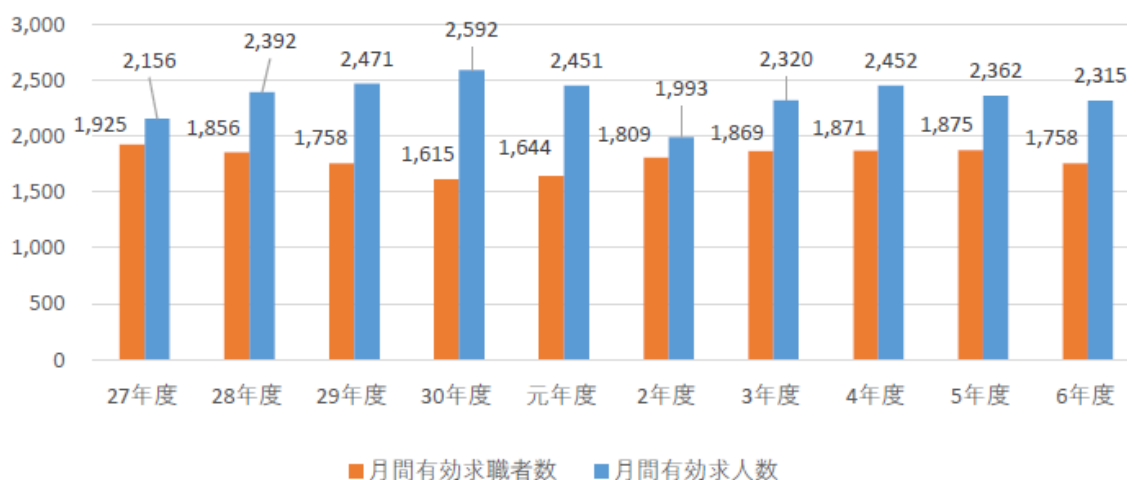
※労働力率=「労働力人口」÷「15歳以上人口総数」

出典 国勢調査

(3) 雇用情勢について

■有効求人数・求職者数の推移(年度平均)

(新規卒者を除き、パートタイムを含む全数)



出典 防府職業安定所「労働市場年報」令和6年度

(4) 産業分類別の従業者数

業種	平成27年		令和2年	
	従業員数	構成比(%)	従業員数	構成比(%)
全体(公務除く)	50,704		49,982	
一次産業	1,374	2.7	1,324	2.6
農林漁業	1,374	2.7	1,324	2.6
二次産業	17,118	33.8	16,914	33.8
鉱業、採石業、砂利採取業	7	0.0	7	0.0
建設業	4,534	8.9	4,366	8.7
製造業	12,577	24.8	12,541	25.1
三次産業	32,212	63.5	31,744	63.5
電気・ガス・熱供給・水道業	294	0.6	271	0.5
情報通信業	433	0.9	348	0.7
運輸業、郵便業	3,202	6.3	3,175	6.4
卸売業、小売業	8,304	16.4	7,889	15.8
金融業、保険業	989	2.0	915	1.8
不動産業、物品賃貸業	639	1.3	661	1.3
学術研究、専門・技術サービス業	1,177	2.3	1,170	2.3
宿泊業、飲食サービス業	2,274	4.5	2,208	4.4
生活関連サービス業、娯楽業	1,948	3.8	1,754	3.5
教育、厚生支援業	2,298	4.5	2,357	4.7
医療、福祉	7,323	14.4	7,858	15.7
複合サービス業	562	1.1	498	1.0
サービス業（他に分類されないもの）	2,769	5.5	2,640	5.3

※公務（他に分類されるものを除く）、分類不能産業を除く。

出典 国勢調査

2. 中小企業の課題

- (1) 物価高騰や人手不足等の厳しい経営環境に対応するため、業務の効率化や生産性の向上、人材の確保・育成に取り組む必要があります。
- (2) 女性や高齢者、障害者の就業機会の拡大や多様な働き方のニーズに対応するため、働きやすい職場環境づくりに取り組むことが重要です。
- (3) 競争力の強化、事業拡大に向け、新技術や新商品の開発、第二創業^{※1}や新事業展開などに取り組むことが重要です。
- (4) カーボンニュートラル^{※2}の実現に向け、脱炭素化の取組を進めることが重要です。
- (5) 経営者の高齢化が進む中、廃業による雇用や技術の喪失を防ぐため、事業承継が重要です。
- (6) 地域資源を活用した商品・サービスの開発等により地域の魅力を発信し、地域経済の活性化につなげるのが重要です。

※1 第二創業

既に事業を営んでいる中小企業者において、事業者がその業態を変更したり、新事業・新分野に進出したりすること。

※2 カーボンニュートラル

二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量と吸収量がプラスマイナスゼロになるようなエネルギーの在り方。